

専門分野				
糖尿病・栄養学				
研究課題				
栄養とエピジェネティクス				
教育活動				
担当授業科目(学部)				
解剖生理学Ⅰ、Ⅱ、臨床栄養学各論Ⅰ、疾病論、予防医学、				
担当授業科目(大学院)				
公衆栄養学特論、公衆栄養学演習				
事項	年月	対象者	概要	
教育方法の実践例				
作成した教材・資料集				
臨床栄養学Ⅰ総論(中山書店)	平成28年3月	学生、栄養士		
臨床栄養学Ⅱ各論(中山書店)	平成28年3月	学生・栄養士		
解剖生理学(中山書店)	平成28年12月	学生、栄養士		
生化学(中山書店)	平成28年11月	学生・栄養士		
臨床病態学(化学同人)	平成24年4月	学生、栄養士		
研究活動				
著書・CD・論文・学会発表 ・演奏会等の名称	単共 の別	発行又は 発表の年月	発行所、発表雑誌等又は 発表学会等の名称	共著者、共同発表者、共演者の名 前、曲名、担当頁、概要など
著書・訳書・CD等				
糖尿病の療養指導1012	共	平成24年	診断と治療社	糖尿病食事療法の進歩についてまとめたもの。 日本糖尿病学会編
機能的食品の作用と安全性	共	平成24年	丸善	いくつかの微量栄養素、サプリメントなどについて担当項目についてまとめた。 上野川修、清水俊雄、清水誠編
糖尿病最新の治療 2013-2015	共	平成25年	南江堂	糖尿病食事療法のガイドラインやトピックスについての総説である。 岩本安彦、羽田勝計、門脇孝編
糖尿病臨床のすべて 糖尿病患者の食事療法と運動療法	共	平成26年	中山書店	糖尿病食事療法について、基本からトピックスまでをまとめた。 山田祐一郎編
糖尿病研修ノート 改訂第2版	共	平成26年	診断と治療社	食事療法のなかで、カーボカウント法について概説した。 門脇孝責任編集/p283-285
実践! ケースに学ぶ栄養管理・食事指導エキスパートガイド	共	平成27年	南山堂	総論(糖質・脂質・たんぱく質の作用と代謝)について概説した。 稲垣暢也、長嶋一昭、幣憲一郎編/ P2-7
はじめてのカーボカウント 改訂第3版	共	平成28年	中外医学社	坂根直樹、佐野喜子編/P72-73
Visual 栄養学テキスト 臨床栄養学Ⅱ各論	共	平成28年	中山書店	本田佳子編集 津田謹輔、伏木享、本田佳子監修
Visual 栄養学テキスト 臨床栄養学Ⅰ総論	共	平成28年	中山書店	本田佳子編集 津田謹輔、伏木享、本田佳子監修

				執筆 P2-7
病態栄養ガイドブック 改定第5版(日本病態栄養学会編)	共	平成28年	南江堂	執筆 P140-145
Visual 栄養学テキスト 解剖生理学	共	平成28年	中山書店	津田謹輔、伏木享、本田佳子監修
Visual 栄養学テキスト 生化学	共	平成28年	中山書店	津田謹輔、伏木享、本田佳子監修
学術論文				
Low birth weight as cardiometabolic risk in Japanese high school girls	共	平成24年	J of American College of Nutrition 31:39	わが国において、低出生体重児が、成人になり肥満や糖尿病、高血圧など生活習慣病をきたしやすいことを示した。DOHaD 仮説を指示する所見である。Mori M, H.Mori, Yamori Y, K.Tsuda
Life style-related disease and skeletal muscle A review	共	平成24年	J.Phys.Fitness Sports Med 1:17	筋肉繊維タイプと糖尿病の病態についての総説である。Ishihara A, Nagatomo F, Fujino H, K.Tsuda
The effects of running exercise on oxidative capacity and PGC1- α mRNA levels in the soleus muscle of rats with metabolic syndrome	共	平成24年	j.Phy Sci 62:105	メタボリックシンドロームモデル動物のラットを用いて、運動が筋繊維の変化をもたらす機序に PGC1 が関与していることを明らかにした。Nagatomo F, H.Fujino, M.Kouzaki, G.NinI.Takeda,K.Tsuda. A.Ishihara
Enteral supplement enriched with glutamate, fiber and oligosaccharide attenuates experimental colitis in mice	共	平成25年	Nutrition 29:549	潰瘍性大腸炎モデル動物を作成し、治療に用いられている GFO の作用機序を明らかにした。Joo E, Yamane S, Hamasaki A, Harada N Matsunaga T, Shide K, Tsuda K, Inagaki N
Effect of percutaneous electrical muscle stimulation on postprandial hyperglycemia in type 2 diabetes	共	平成24年	Diabetes Res Clin Practise 96:306	糖尿病患者において、筋肉の電気刺激が食後血糖値を改善することを証明した。新しい治療法につながる可能性を示唆するものである。Miyamaoto T, Fukuda K, Kimura T, Matsubara Y, Tsuda K, Moritani T
Hyperoxia reverses glucotoxicity-induced inhibito of insulin secretion in rat INS1-1 β cells	共	平成26年	Bioscience Biotechnology Biochemistry	ラット β 細胞を用いて、高圧高酸素が、糖毒性を解除しインスリン分泌を改善することを明らかにした。Matsunaga T,Li S, Adachi T, JooE, Gu N, Yamazaki H, Yasuda K, Kondoh T, K Tsuda
Exercise therapy in diabetic patients	共	平成26年	J Phys Fitness Sports Med	糖尿病における運動療法についての総説である。K.Tsuda, Y Tsuda, Sato Y, Ishihara A
コーヒー摂取が胃運動および自律神経活動に与える効果の研究	共	平成24年	日本・栄養食糧学会 65:113	ヒトを対象にして、コーヒーが胃の運動や食物の胃排泄能に影響を及ぼすことを明らかにした。種村一識、松永哲朗、山崎英恵、李子帆、城尾恵理奈、足達哲也、近藤高史、津田謹輔
アログリブチン(ネシーナ)の症例検討 51例のカルテから	単	平成24年	Prog in Medicine 32:2695	糖尿病患者51例における、DPP4 阻害薬であるアログリブチンの効果と副作用をまとめた。

食事と運動の処方箋ークスリを使う前に	単	平成 24 年	Medicina 49:766-769	糖尿病治療において、基本的治療である食事・運動療法について概説した。
糖尿病食事療法の問題点と今後の課題	単	平成 24 年	DM ensemble 1:42-43	糖尿病治療における食事療法のガイドラインやトピックスについて概説した。
適正なエネルギー摂取量の算出法	単	平成 24 年	内分泌・糖尿病・代謝内科 35:359-366	糖尿病治療の基本である食事療法において、摂取エネルギー量の設定は欠かすことができない。その算出方法について概説した。
肥満と摂取エネルギー量・栄養素バランス	単	平成 24 年	ホルモンと臨床 59:707-714	肥満の食事療法について概説した。
有効で実施可能な食事療法の進めかた	単	平成 24 年	Med Practice 779-784	糖尿病食事療法の実践について示した。
糖尿病患者をみる 食事療法の観点から	共	平成 25 年	Mebio	糖尿病食事療法の基本、トピックスについて概説した。 細川雅也
エネルギーや三大栄養素以外で考慮すべき栄養素はどのようなものですか？	共	平成 26 年	臨床栄養別冊 糖尿病の最新食事療法	糖尿病b食事療法における、ビタミンやミネラルについて概説した、 細川雅也
糖尿病の運動療法 第11回 運動と栄養の関連 エネルギー代謝面から	共	平成 27 年	月刊 糖尿病 7(3)81-91	津田謹輔、津田雄介、佐藤祐造
薬物療法と食事療法～食事療法最近の話題	単	平成 27 年	山形県医師会学術雑誌 48 巻 46-62	
日本の食生活の変遷と糖尿病	単	平成 27 年	月刊糖尿病 7 (9) 6-16	
糖尿病治療をめぐる最近の話題	単	平成 27 年	日本糖尿病教育・看護学会誌 19(1)42-45	
食事療法	単	平成 28 年	月刊糖尿病 8(2)66-74	
食事療法 考え方の変遷 食品交換表今昔	単	平成 28 年	糖尿病診療マスター14(6) 424-429	
糖尿病における食事療法の意義と課題	単	平成 28 年	カレントセラピー34(6)14-19	
Okara ameliorates glucose tolerance in GK rats.J.Clin.Biochem.Nutr.	共	平成 28 年	J.Clin. Biochem. Nutr 58(3)216-222	M.Hosokawa, M.Katsukawa, H.Tanaka, H.Fukuda, S.Okuno, K.Tsuda, N.iritani
Comparison of the nature and cost of Diabetes treatment at two clinics in Japan and the United States.	共	平成 28 年	Immunoendocrinology 3: e1444, 2016	O.Inada, Y.Yokogawa, K.Tsuda, Y.Seino, H.Katsuta, A. Inada
血糖コントロールの決め手は「食事療法」にあり、現代日本人の食の問題をどう解決するのか	対談	平成 28 年	糖尿病診療マスター 15(3): 191-198 , 2017	津田謹輔、赤井裕輝
学会発表				
第 18 回日本病態栄養学会市民公開講座 講演		平成 26 年 10 月 19 日	京都	すべて糖尿病の食事療法についてである。
第 19 回日本糖尿病教育・看護学会 教育講演		平成 26 年 9 月 21 日	岐阜	”
第 57 回日本糖尿病学会総会シンポジウム		平成 26 年 5 月 21 日	大阪	”
第 48 回糖尿病学の進歩 教育講演		平成 26 年 3 月 8 日	札幌	”

第50回日本糖尿病学会近畿地方会シンポジウム		平成25年11月23日	京都	〃
第56回日本糖尿病学会 debate to consensus 座長		平成25年5月16日	熊本	〃
第47回糖尿病学の進歩 教育講演		平成25年2月15日	四日市	〃
日本内分泌学会第22回臨床内分泌代謝 update meet the specialist		平成25年1月18日	さいたま市	〃
第16回日本病態栄養学会 meet thhe expert		平成25年1月13日	京都	〃
第55回日本糖尿病学会総会シンポジウム		平成24年5月19日	横浜	〃
第46回糖尿病学の進歩 教育講演		平成24年3月2日	岩手	〃
第14回日本病態栄養学会ワークショップ座長		平成24年1月14日	京都	〃
日本病態栄養学会シンポジウム 和食を科学する				座長
第50回糖尿病学の進歩		平成28年2月19日	東京	シンポジウム講演
第55回日本栄養・食糧学会近畿支部大会		平成28年10月22日	大阪	特別講演
第16回日本糖尿病情報学会		平成28年9月3日	三重	シンポジウム講演
第20回日本病態栄養学会		平成29年1月	京都	一般演題共同演者
演奏会・発表会				
その他の研究発表、演奏				
第6回泉佐野・泉南糖尿病メディカルスタッフセミナー 特別講演「糖尿病食事療法の最近の話題」		平成26年11月8日	第6回泉佐野・泉南糖尿病メディカルスタッフセミナー、泉佐野市	共催：泉佐野・泉南糖尿病メディカルスタッフセミナー、ノボノルディスクファーマ株式会社
E-Quality Meeting 特別講演「糖尿病の薬物療法」		平成26年9月27日	E-Quality Meeting、京都	主催：ノバルティスファーマ株式会社
第6回福岡糖尿病情報交換会 特別講演「糖尿病食事療法をめぐる最近の話題」		平成26年7月25日	第6回福岡糖尿病情報交換会、福岡	
糖尿病治療と食事療法を考える会 特別講演「糖尿病食事療法をめぐる最近の話題」		平成26年7月19日	糖尿病治療と食事療法を考える会、京都	共催：糖尿病治療と食事療法を考える会、日本イーライリリー株式会社、日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社
相楽・綴喜医師会講演会 特別講演「糖尿病薬物療法をめぐる～SGLT2阻害薬を中心に～」		平成26年7月12日	相楽・綴喜医師会講演会、京都	共催：相楽医師会、綴喜医師会、アステラス製薬、MSD、アストラゼネカ、小野薬品、興和創薬
第14回大阪糖尿病患者教育担当者研修会 (ODES) 特別講演 I「糖尿病食事療法の最近の話題」		平成26年	第14回大阪糖尿病患者教育担当者研修会(ODES)、大阪	
第24回ひだ糖尿病コ・メディカルセミナー 特別講演「糖尿病治療における最近の話題」		平成26年6月21日	第24回ひだ糖尿病コ・メディカルセミナー、岐阜 高山	共催：ひだ糖尿病コ・メディカルセミナー、ノボノルディスクファーマ株式会社
第11回吉政医院健康教室		平成26年5月31日	第11回吉政医院健康教室、京都	
河内長野市医師会学術講演会 特別講演「糖尿病食事療法の最近の話題」		平成26年4月19日	河内長野市医師会学術講演会、河内長野市	共催：河内長野医師会、小野薬品工業株式会社、アストラゼネカ株式会社
Diabetes Face to Face 医師・糖尿病療養チーム合同講演会～食事療法を考える～		平成26年4月17日	医師・糖尿病療養チーム合同講演会、長崎	共催：長崎県糖尿病対策推進会議、日本イーライリリー株式会社

特別演題「食品交換表改訂とその背景」				
糖尿病療養セミナーin 岐阜 2014 Seminar for Diabetes 「糖尿病治療をめぐる最近の話題と今後の展望」		平成 26 年 3 月 21 日	岐阜県糖尿病看護研究会、岐阜	主催：岐阜県糖尿病看護研究会
第 27 回静岡県糖尿病懇話会 特別講演Ⅱ「糖尿病食事療法の最近の話題」		平成 26 年 3 月 1 日	第 27 回静岡県糖尿病懇話会、静岡	共催：静岡県糖尿病懇話会、武田製薬工業株式会社
第 2 回インスリン治療を極める会 講演 2「糖尿病治療における食事療法の役割」		平成 26 年 2 月 25 日	第 2 回インスリン治療を極める会、宮城県仙台	
日医生涯教育協力講座 山形県医師会(山形県糖尿病対策推進会議)糖尿病研修会 講演 3「薬物療法と食事療法～食事療法最近の話題～」		平成 26 年 2 月 22 日	日医生涯教育協力講座 山形県医師会(山形県糖尿病対策推進会議)糖尿病研修会、山形	共催：日本医師会、山形県医師会、山形県糖尿病対策推進会議、田辺三菱製薬株式会社
唐津糖尿病学術講演会 特別講演「食品交換表改訂とその背景」		平成 26 年 1 月 16 日	唐津糖尿病学術講演会、佐賀	主催：日本イーライリリー株式会社
第 35 回松山西部地区糖尿病連携サークル 特別講演「糖尿病食事療法の最近の話題」		平成 25 年 12 月 12 日	第 35 回松山西部地区糖尿病連携サークル、愛媛	共催：松山西部地区糖尿病連携サークル、小野薬品工業株式会社
第 26 回伏見糖尿病研究会 特別講演Ⅱ「糖尿病食事療法の最近の話題～エネルギー制限と糖質制限をめぐって～」		平成 25 年 11 月 21 日	第 26 回伏見糖尿病研究会、京都	共催：伏見糖尿病研究会、田辺三菱製薬株式会社、第一三共株式会社
世界糖尿病デー 市民公開シンポジウム 食事からみた糖尿病予防 特別講演「糖尿病予防と治療のための生活の知恵」		平成 25 年 11 月 16 日	世界糖尿病デー市民公開シンポジウム、岩手	主催：岩手県糖尿病対策推進会議、岩手県医師会 共催：岩手県糖尿病協会、アステラス製薬株式会社
第 29 回富山県糖尿病懇話会 特別講演「糖尿病食事療法最近の話題」		平成 25 年 10 月 26 日	第 29 回富山県糖尿病懇話会、富山	共催：富山県糖尿病懇話会、富山県薬剤師会・富山県病院薬剤師会・富山県栄養士会、ノボルディスクファーマ株式会社
第 20 回北野 B.B.DM フォーラム 特別講演「糖尿病食事療法最近の話題」		平成 25 年 10 月 5 日	第 20 回北野 B.B.DM フォーラム、大阪	共催：北野 B.B.DM フォーラム、大日本住友製薬株式会社
第 12 回南大阪における糖尿病医療情報発信と病診連携を目指す会(SOAMIC in DM) 特別講演「糖尿病食事療法を考える」		平成 25 年 9 月 28 日	第 12 回南大阪における糖尿病医療情報発信と病診連携を目指す会、大阪	主催：ノバルティスファーマ株式会社
第 48 回鹿児島糖尿病教育ナース研修会 特別講演「生活習慣病に対する新しい考え方～若い女性と痩せと低出生体重児をめぐって～」		平成 25 年 9 月 7 日	第 48 回鹿児島糖尿病教育ナース研修会、鹿児島	共催：鹿児島糖尿病教育ナース研修会、日本イーライリリー株式会社
第 16 回武田病院グループ糖尿病市民公開講座 「糖質制限のメリット、デメリット」		平成 25 年 7 月 28 日	第 16 回武田病院グループ糖尿病市民公開講座、京都	共催：武田病院グループ、日本イーライリリー株式会社
第 12 回栃木臨床糖尿病セミナー 特別講演「薬物療法と食事療法～食事療法の温故知新～」		平成 25 年 7 月 25 日	第 12 回栃木臨床糖尿病セミナー、栃木	共催：ナカノ薬品株式会社、株式会社三和化学研究所
生涯学習研修会 「若年女性のやせ」		平成 25 年 7 月 13 日	奈良県栄養士会 生涯学習研修会、奈良	
成人大学講座 よく分かる！生活習慣病よく分かる！食事療法 「糖尿病予防と治療のための生活の知恵」～メタボとロコモ～		平成 25 年 5 月 11 日	大阪狭山市立公民館講座、大阪狭山市	共催：帝塚山学院大学
京都CDEの会 食品交換表改訂とその背景		平成 27 年 1 月 24 日	京都	特別講演
愛知県糖尿病対策推進会議学術講演会 糖尿病の食事療法		平成 27 年 2 月 28 日	愛知県	講演
第 7 回加古川糖尿病セミナー 食事療法最近の話題～糖質を中心に～		平成 27 年 4 月 2 日	加古川市	特別講演
相楽糖尿病診療を考える会：糖尿病食事療法に関する最近の話題		平成 27 年 5 月 16 日	京都府	特別講演

糖尿病治療・食事療法の最前線 臨床栄養実践協会 糖尿病食事療法最近の話題		平成 27 年 6 月 7 日	大阪市	特別講演
第 3 回日本糖尿病協会療養指導学術集会 食事療法 変わるもの、変わらないもの		平成 27 年 7 月 27 日	京都	特別講演
松江地域糖尿病学術集会 糖尿病食事療法最近の話題 ～炭水化物を中心に～		平成 27 年 8 月 19 日	愛媛県松江市	特別講演
糖尿病治療・食事療法の最前線 臨床栄養実践協会 糖尿病食事療法最近の話題		平成 27 年 10 月 24 日	東京都	特別講演
第 13 回奈良生活習慣病談話会 生活習慣病最近の話題 ～メタボとロコモ～		平成 27 年 11 月 21 日	奈良県	特別講演
第 18 回京都北部CDEの会 食品交換表改訂とその背景		平成 27 年 11 月 28 日	京都府舞鶴市	特別講演
第 13 回日本小児栄養研究会		平成 28 年 3 月 12 日	東京	特別講演
第 67 回 回南大阪糖尿病セミナー		平成 28 年 5 月 28 日	大阪	特別講演
平成28年度大阪栄養士会総会講演会		平成 28 年 5 月 28 日	大阪	特別講演
第15回和歌山糖尿病セミナー		平成28年7月21日	和歌山	特別講演
第89回用尿病を考える会		平成29年3月4日	島根県	特別講演
その他の著書、訳書等(雑誌原稿等を含む)				
研究助成金の受給状況				
科研費の採択				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別	
	支給額		支給年度	
その他の外部資金による活動				
研究タイトル	助成金タイトル、支給元		研究代表者・分担者の区別	
	支給額		支給年度	
その他研究活動上特記すべき事項	年月	概要		
学内委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
平成 26 年 4 月 1 日～	学長			
社会活動				
学会役員				
就任期間	学会役員名			
	日本内科学会(認定医)			
	日本糖尿病学会(功労評議員、認定医、指導医)、JDCPワーキンググループ、			
	日本病態栄養学会(評議員)			
	日本栄養・食糧学会(評議員)、日本病態栄養学会評議員			
	日本糖尿病合併症学会(功労評議員)			
	日本肥満学会(評議員)			
	日本内分泌学会(功労評議員)			

公開講座				
講座名、講演タイトル	単共の別	年月	場所	概要
教員免許更新講習 選択講座 「児童・生徒のための健康生活と栄養教育 —メタボな大人にならないために①—」	単	平成 26 年 8 月 4 日	帝塚山学院大学	
滋賀さざなみ会設立 30 周年県民公開講座 糖尿病治療 主役はあなたです 自己管理のコツをつかもう なぜ食事療法が大切か		平成 27 年 5 月 9 日	滋賀さざなみ会、滋賀県	
狭山市成人大学市民講座 「家庭における食事と疾病～糖尿病を中心に～」		平成 27 年 6 月 10 日	大阪狭山市立公民館講座、大阪狭山市	
帝塚山学院大学健康プラザ開設講演会「メタボとロコモ～健康長寿に今、できること」		平成 27 年 6 月 13 日	帝塚山学院大学、堺市	
帝塚山学院中学校高等学校補導講話「賢く食べてきれいに、元気に」		平成 27 年 7 月 14 日	帝塚山学院中学校、大阪市	
教員免許更新講習 選択講座 「児童・生徒のための健康生活と栄養教育 —メタボな大人にならないために①—」	単	平成 27 年 8 月 4 日	帝塚山学院大学、堺市	
狭山市熟年大学いきいき講座「生活習慣病予防のための生活の知恵 ～メタボとロコモ～」		平成 27 年 9 月 17 日	狭山市	
帝塚山学院同窓会 文化の会		平成28年9月5日	大阪	
地域で支える健康生活		平成28年10月10日	大阪	
学外機関委員等				
就任期間	機関名・委員名・役職名			
その他、学会や学術的団体での活動、社会活動上特記すべき事項				
海外での活動				
海外での教育、研究、大学運営、国際貢献にかかわること				
期間	国名	概要		